

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

2026年 新春のコレクション展

南桂子銅版画展一旅のはじまり

2026年1月24日（土）～4月12日（日）



《少女と花》 Girl and Flowers 1973年 エッチング・サンドペーパー 34.1×28.2 cm

銅版画家・南桂子（1911～2004）の展覧会を開催します。南は、40歳を過ぎてから銅版画をはじめ、パリで制作し続けました。繊細な線と透明な色彩、鳥、少女、お城などのモチーフによる独自の作品世界で知られ、戦後を代表する銅版画家の一人として、近年注目を集めています。

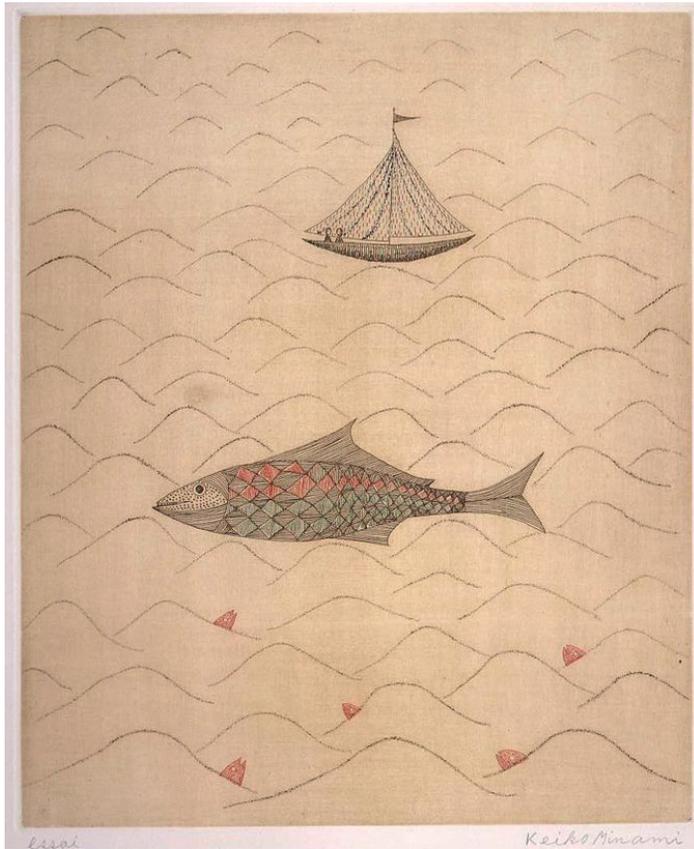
この展覧会では、憧れや旅立ちなど、作品に流れる静かな力強さに注目します。絵の中の少女は遠くを見つめ、魚は広い海を泳ぎつづけます。新しい世界を切り開こうとする主人公たちをゆっくりご鑑賞ください。作風は生涯変わりませんでした。

南桂子作品約40点、浜口陽三作品約10点の構成です。

展覧会名 南桂子銅版画展一旅のはじまり
会期 2026年1月24日（土）～4月12日（日）
2月28日午後はイベントのため休館
2月15日、3月15日は終日イベントのため鑑賞しづらい箇所がございます
休館日 月曜日（2月23日は開館、翌24日閉館）
開館時間 平日 11：00～17：00
土日祝 10：00～17：00（最終入館 16：30）
ナイトミュージアム 4月10日（金）20：00まで開館（最終入館 19：30）
入館料 一般600円、大学生・高校生400円、
中学生以下無料

主催・会場 ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
〒103-0014 東京都中央区日本橋蠣殻町1-35-7
Tel 03-3665-0251 E-mail musee@yamasa.com
アクセス 東京メトロ半蔵門線 [水天宮前] 3番出口そば
東京メトロ日比谷線 [人形町] A2 出口徒歩8分
HP <https://www.yamasa.com/musee/>

お問合せ先 広報担当 高野
E-mail musee@yamasa.com
Tel 03-3665-0251 Fax 03-3665-0257



《魚と舟》Fish and Boat 1962年
エッチング・ソフトグランドエッチング・サンドペーパー 34.0×28.3 cm



《花とみどり色の鳥》Red Flowers and Green Bird 1981年
エッチング・サンドペーパー 31.3×28.3 cm

南桂子

- 1911年 富山県に生まれる。
- 1954年 パリのフリードリヒ版画工房で2年ほど銅版画を学ぶ。
- 1957年 「羊飼いの少女」がニューヨーク近代美術館のカードに採用される。
- 1958年 「平和の木」がユニセフのカードに採用される。
- 1982年 サンフランシスコに移住。現地で銅版画の制作を続ける。
- 2004年 東京にて逝去。
- 2023年 富山県「郷土の先賢」として顕彰展示（～2025年）
- 2024年 富山県「高志の国文学館」にて南桂子展（～翌2月）
- 2026年 テート美術館の公式卓上ダイアリーに「少女と花」が採用される。

展覧会特別企画

編集者・北川史織さんを囲んでの茶話会

『暮しの手帖』2021年4-5月号で南桂子を取りあげた前編集長の北川史織さんを囲んで、記事が出来るまでのエピソードや、編集のお話などを伺います。

日時：2月28日(土)14:00～15:30(その後17時まで歓談)

参加費：800円(入館料込み)

定員：50名

北川史織(きたがわ・しおり)
1976年生まれ。2020年1月から2025年3月まで『暮しの手帖』編集長をつとめる。
現在はフリー編集者として活躍。好きな分野は、人物ルポルタージュ、住まいや建築、料理。

ワークショップ

サンドペーパーでつくる銅版画ワークショップ

空や風のような表現をサンドペーパーで制作し、植物のモチーフと刷り重ねて作品を完成させてみましょう。初心者向けの刷り体験です。

日時：2月15日(日)、3月15日(日)

①10:00～ ②14:00～(約2時間)

参加費：600円(入館料別)

定員：各回8名

講師：関貴子

北川史織さんを囲んでの茶話会、ワークショップともに、予約は2月2日12時より電話にて受付(先着順)